

2012年3月7日

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XI 歌劇『蝶々夫人』演奏会形式公演中止および
小澤征爾の1年間の指揮活動中止について

平素より大変お世話になっております。

2月15日のリリースでお知らせ致しました通り、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XI 歌劇『蝶々夫人』は、小澤征爾の体調を考慮しセミ・ステージ付きの演奏会形式で小澤征爾とピエール・ヴァレーが指揮を分担し、3月17日より神奈川、名古屋、びわ湖、東京で4公演を行う予定でした。

しかし大変残念ながら、小澤征爾の体調が指揮をするまでには回復せず上記4公演は中止させていただくことと致しました。なお教育プロジェクトとしてレッスンとリハーサル、および3月25日(日)の鎌倉芸術館でのユー・ルー指揮による特別演奏会は予定通り行います。

皆様には度重なる変更で多大なご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。同時に、小澤の主治医である聖路加国際病院の岡田正人医師、小澤本人、家族、国内外の関係者と話し合いを重ねた結果、今後1年間は小澤は指揮活動を辞め、体力回復に努めるべきだとの結論に至りました。

1月の水戸室内管弦楽団の公演は小澤の体調不良により、公演内容の変更や公演自体の中止を余儀なくされました。その後も体調が完全には回復せず、2月末には軽い肺炎のため約1週間の入院治療を行いました。小澤自身は、何としても今回の『蝶々夫人』の公演を指揮したいとの強い希望を持っておりました。しかしこのたびの入院に際し、肺炎は完治したものの現在の体力のままで決まっているスケジュールに合わせて準備を行い指揮をすれば、再度体調を崩す可能性が極めて高く、まずは1年間を目途とし体力回復に専念できる環境を整えるべきだとのご指示を岡田医師からも頂き、このような決断をした次第です。

この決定に伴い、2013年の2月末までに小澤が指揮をする予定の公演につきましては、国内外問わずすべて降板させていただくこととなりました。

また夏のサイトウ・キネン・フェスティバル松本には総監督として参加し、スイス、奥志賀での弦楽四重奏の教育プロジェクトへは、監督として可能な限り携わる予定です。

今回の決断は小澤にとっても苦渋の決断でありました。しかし同時に、体力を完全な状態に戻し、また仲間たちと思い切り音楽をやりたい、皆様の前で指揮をしたいという、強い願いがあるからこそその前向きな決断でもあります。

皆様には再度大変なご迷惑とご心配をおかけし誠に申し訳ございません。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

ヴェローザ・ジャパン/小澤征爾音楽塾
ジェネラル・マネージャー：栗田泰幸
広報担当：武満真樹

岡田正人医師のコメント

2月中旬に小澤さんが体調不良を訴えられ受診された際の検査で、軽度の肺炎を起こしていらっしゃる事が分かりました。1週間ほどの入院治療で治癒致しましたが、まだかなりの体力低下が認められるため、主治医として3月17日からの公演を指揮することは避けるべきとの判断を致しました。

小澤さんは2010年1月に食道癌手術を受け、その後、かなりの体重減少と基礎体力の低下がありました。熱心にリハビリに励まれ、徐々に本来の活動に復帰されましたが、2010年12月のカーネギー・ホールでの公演、2011年8月のサイトウ・キネン・フェスティバル松本のオペラ公演、そして2012年1月の水戸室内楽管弦楽団の公演期間中、あるいは公演後に、いずれも軽度の肺炎を発症し現地で初期治療の後に入院治療を行いました。幸い、ごく最近の検査でも食道癌の再発、転移などは一切認められず、3度の肺炎も問題なく治癒しています。

しかしながら、今後も公演スケジュールに合わせての音楽活動の傍らのリハビリでは、小澤さんの体力が本来の指揮活動を行うに十分なまでに回復することは困難と考えられます。

そこでこの度、私は小澤さんの主治医として、これからの1年間は、じっくりと時間をかけたリハビリと体力の回復に専念できるように環境を整え、指揮活動は一切辞め、体力回復に努めるべきだという判断を致しました。精神的にも余裕をもって適切なリハビリと食事療法を続けることにより必ず小澤さんの体力は回復すると信じております。

聖路加国際病院

岡田正人

小澤征爾コメント

この度は私の体調のために、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXI 歌劇『蝶々夫人』の公演を中止することになり、大変申し訳ありません。心よりお詫び申し上げます。

皆様にご迷惑をおかけすることは重々承知しておりますが、3度目の肺炎を患ってしまったこともあり今回は主治医の指示に従うことと致します。ただし、小澤征爾音楽塾の主たる目的である、レッスンとリハールは私の信頼する先生方とピエール・ヴァレーを中心に予定通り行います。

また、今後これ以上皆様にご迷惑とご心配をおかけしないためにも、2013年2月末までの1年間は指揮活動を断念し、体力回復に努めることに致しました。これは私にとって大変辛い決断でありました。しかし十分な体力をつけ、また皆様の前で指揮をさせて頂くために、この1年間は医師のアドヴァイスのもと、体力をつけるためのリハビリと食事療法に励みたいと思っております。

小澤征爾

ご購入いただきましたチケットにつきましては払い戻しをさせていただきます。
お客様には多大なご迷惑をおかけ致しますことを深くお詫び申し上げます。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XI 歌劇「蝶々夫人」払い戻し問い合わせ先

3月17日（土）神奈川県民ホール公演
神奈川芸術協会 045-453-5080

<http://www.kanagawa-geikyo.com/concerts/120317-2/120317-2.html>

3月21日（水）愛知県芸術劇場公演
東海テレビ放送事業部 052-954-1107

<http://tokai-tv.com/event/scc2011/ozawa.html>

3月24日（土）滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール公演
エラート音楽事務所 075-751-0617

3月28日（水）東京文化会館公演
小澤征爾音楽塾事務局 0570-063-050

<http://www.ongaku-juku.com/j/topics/120307.php>

※なお、3月25日（日）鎌倉芸術館で行われます小澤征爾音楽塾特別演奏会2012
（ユー・ルー指揮）公演は予定通り行います。